

# 有子山城築城 450周年 記念シンポジウム

# 名門

# 山名氏

# 再起を図る

● **とき**  
2024年  
**12月1日(日)** 13時30分～

● **ところ**  
**出石永楽館**  
(兵庫県豊岡市出石町柳17-2)

※会場に駐車場はありません。近くの市営駐車場などをご利用ください。

● **プログラム**



撮影: 島中和久氏

- ① 有子山城跡調査報告
- ② 基調講演「有子山城から見た日本の城」  
千田 嘉博氏  
(名古屋市立大学高等教育院教授・奈良大学特別教授)
- ③ シンポジウム「名門山名氏、再起を図る！」

● **参加料: 無料** ● **定員: 先着320名**(※事前申込順)  
※参加には申込が必要です。詳細は裏面をご確認ください。  
※当日は豊岡市役所出石庁舎(豊岡市出石町内町1)の  
市民ホールにて、ライブ中継も行います。  
先着申込に漏れた方はこちらへご参加ください。

● **主催: 有子山城築城450周年事業実行委員会**

## 関連事業

豊岡市立歴史博物館 企画展「但馬山名氏と山名四天王」

● 会期 9/28 ~ 1/7 ※休館日: 水曜日・年末年始(12/28~1/4)

兵庫県豊岡市日高町祢布808

● 開館時間: 9:00~17:00(入館は16:30まで) ● 入館料: 一般500円、学生300円、小中学生250円

# 有子山城築城 450周年記念シンポジウム

室町幕府の要職を務め、一族で日本全国66カ国中11カ国の守護となり、「六分の一殿」と呼ばれた山名氏。その総領家が但馬山名氏です。戦国末期の下剋上の時代となっても、守護からそのまま戦国大名として、但馬地域を支配し続けました。

しかし、天下統一を狙う織田信長が西国へ勢力を伸ばしていた頃、逆に当時の山名氏はその勢力を失っており、織田軍の木下秀吉（後の豊臣秀吉）に攻められて、居城であった此隅山城は落城しました。

天正2年（1574）、名門山名氏の当主・山名祐豊は信長より罪を赦され、新たに有子山城を築城し、東から攻め寄る織田軍、西から但馬を狙う毛利軍と立ち向かうことになります。しかしながら、わずか6年後の天正8年（1580）に再び織田軍に攻められて有子山城は落城し、但馬山名氏は滅亡しました。

シンポジウムでは、城郭研究の第一人者である名古屋市立大学の千田嘉博教授を迎え、全国的な視野と最新の研究成果により、但馬の動乱の時代を明らかにしていきます。



## プログラム

●12月1日(日)／13時30分～開会

①有子山城跡調査報告 仲田 周平 氏（豊岡市立歴史博物館）

②基調講演「有子山城から見た日本の城」

千田 嘉博 氏（名古屋市立大学高等教育院教授・奈良大学特別教授）

③シンポジウム「名門山名氏、再起を図る！」

コーディネーター 千田 嘉博 氏

パネラー 永恵 裕和 氏（兵庫県立考古博物館）／摂津・播磨

パネラー 西岡 真理 氏（丹波市教育委員会）／丹波

パネラー 岡村 吉彦 氏（元鳥取県史編纂室長）／因幡

パネラー 仲田 周平 氏（豊岡市立歴史博物館）／但馬

●シンポジウムに関するお問い合わせ：豊岡市役所出石振興局地域振興課 Tel.0796-52-3111

## 参加申込要項

●参加には事前申込が必要です。10月7日(月)より申込開始／先着 320名

※参加は事前申込順となります。定員になり次第、締め切ります。10/6 以前の申込は無効とさせていただきます。

●申込方法：氏名、住所、連絡先電話番号等を記入の上、インターネットまたは FAX より申込

※参加者には、受付番号を記載した《ネット申込者：受付メール》、《FAX申込者：受付ハガキ》を送付します。

当日は受付番号が必要になりますので、メール、またはハガキを持参の上、会場（永楽館）にお越しください。

●参加申込に関するお問い合わせ：CAMEL株式会社 Tel.0796-24-6373（平日：10～17時まで）

※取得した個人情報は参加申込の連絡、受付以外には使用しません。ご本人の同意がなければ第三者に個人情報を提供することもございません。

FAX申込番号(0796-24-6378)／CAMEL株式会社 宛て

ネット申込

氏名		住所	〒	—
フリガナ		電話番号		

